2016 年度 小委員会活動成果報告

（2017 年　2 月　9 日作成）

小委員会名	室内空気質小委員会	**主 査 名**：柳　宇 **就任年月**：2015 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （空気環境運営委員会）	**委員長名**：羽山　広文 **主 査 名**：持田　灯
設　置　期　間	2015 年　4 月　　～　　2019 年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・室内空気中の化学物質のほか，微生物，臭気，アレルゲンなど室内空気汚染物質全般について，新しい情報を収集する。 ・CO_2濃度を始めとする空気質設計法及び測定法の基準を提案する。 ・居住者のための空気質設計指針を提案する。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：無し 柳宇（工学院大学），鍵直樹（東京工業大学），東賢一（近畿大学），木村洋（長谷工コーポレーション），斉藤智（竹中工務店），武廣絵里子（鹿島建設），高塚威（新日本空調），竹村明久（摂南大学），長谷川麻子（熊本大学），光田恵（大同大学），村上栄造（朝日工業社），野崎淳夫（東北文化学園大学），山口一（清水建設），湯懐鵬（新菱冷熱工業），四本瑞世（大林組）	
設置 WG （WG 名：目的）	・空気清浄装置による室内空気質改善の評価方法検討 WG：空気清浄機の性能評価手法の情報収集 ・微小粒子状物質検討 WG：室内の微小粒子に関する情報収集 ・臭気に関する学会環境基準検討 WG：学会基準の改定に関する検討 ・室内オゾン WG：室内におけるオゾンに関する検討	
2016 年度予算	184,800 円	**ホームページ公開の有無**：無し **委員会 HP アドレス**：無し

項　　目	自己評価
委員会開催数	4　　回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1．今年度大会の OS の企画・運営を行った 2．来年度大会の OS の企画を行った。 3．室内環境管理基準に関する意見交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	1． 2． 3．

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	○A　　B　　C　　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	今年度大会における OS として，「外気汚染物質による室内空気質への影響」として，6 件の発表を受け付け，浮遊粉じん，放射性物質，浮遊微生物，エンドトキシン，花粉に関する講演と議論を行なった。室内汚染物質として，室内での発生を注目することが多いが，外気からの室内空気質の影響について，横断的に議論されることは少なく，有意義な情報交換を行うことができた。 また，傘下の WG においては微小粒子の現状，健康影響に関する知見，臭気の環境基準に関する検討，室内オゾンに関する課題，空気清浄装置の性能表示のあり方など，それぞれの WG において議論することができた。その成果に基づいて，来年度の OS においては，臭気に関する内容について，提案を行った。 その他に，建築物における環境衛生管理基準にある二酸化炭素の 1000 ppm について特に議論を行った。本小委員会においては，特に民間からの会員増強に力を入れており，現場における声の情報交換，新たな分野の情報共有を目指し，活動を行ってきた。上記の問題についても，現場の意見を参考にすることができ，有意義な検討を行うことができた。 来年度以降の活動については，今年度に引き続き，室内オゾン，空気清浄装置について検討を行うと共に，臭気に関する学会基準の改定について議論を行う。更には，来年度大会で開催される OS について，「嗅覚特性と評価・対策」として企画立案を行っており，本小委員会で議論した内容を基に構成する予定である。 以上より，本小委員会における本年の活動については，十分な成果が得られたものと言える。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。